

情報通信審議会 情報通信技術分科会（第100回）議事概要

1 日時 平成26年1月24日(金) 13時00分～14時25分

2 場所 総務省 第1特別会議室（8階）

3 出席者

(1) 委員（敬称略）

徳田 英幸（分科会長）、伊東 晋（分科会長代理）、青木 節子、
石戸 奈々子、近藤 則子、鈴木 陽一、須藤 修、知野 恵子、
根本 香絵、服部 武、廣崎 膨太郎、前田 香織、吉田 進
（以上13名）

(2) 専門委員（敬称略）

安藤 真、多氣 昌生（以上2名）

(3) 総務省

（情報通信国際戦略局）

武井総括審議官、田原技術政策課長

（総合通信基盤局）

吉良総合通信基盤局長、富永電波部長、菊地総務課長、布施田移動通信課長、
新井衛星移動通信課長、菅田衛星移動通信課企画官、星電波環境課長、
澤邊電波利用環境専門官

(4) 事務局

倉橋情報通信国際戦略局情報通信政策課管理室長

4 議 題

(1) 答申事項

- ① 「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち「小電力セキュリティシステム等の高度化に関する技術的条件」
【平成14年9月30日付け 諮問第2009号】

審議の結果、陸上無線通信委員会から提出があった報告書のとおり一部答申することとした。

【内容】

本件は、様々な用途で多数のシステムが利用されている小電力セキュリティ

システム等について、機器の小型化や信頼性の向上が求められていることから、小電力セキュリティシステム等の高度化を図るため、これに必要な技術的条件等について、陸上無線通信委員会から報告があったもの。

- ② 「2GHz 帯等を用いた移動衛星通信システム等の在り方及び技術的条件」のうち「2GHz 帯等を用いた移動衛星通信システム等の在り方」
【平成 25 年 1 月 18 日付け 諮問第 2032 号】

審議の結果、衛星通信システム委員会から提出があった報告書のとおり一部答申することとした。

【内容】

本件は、東日本大震災等を受けた新たな衛星通信ニーズ、研究開発動向、諸外国の動向等を踏まえ、移動衛星業務に周波数分配のある 2GHz 帯等を用いた移動衛星通信システム等の在り方について検討を行ったもの。

(2) 報告事項

CISPR オタワ会議の結果について

【内容】

本件は、昨年 9 月 23 日から 10 月 4 日までの 12 日間、カナダのオタワにおいて開催された C I S P R 会議の結果について報告があったもの。

本会議にて配付された資料をご覧になりたい方は、総務省 HP において公開しておりますのでご覧ください。

また、総務省において、閲覧及び貸し出しを実施しておりますので、下記までご連絡をお願いいたします。

担 当：総務省 情報通信国際戦略局 管理室 調整係 輿石、横溝

電 話：03-5253-5957

F A X：03-5253-5945

メール johotsushin-shingikai/●/soumu.go.jp

迷惑メール防止対策をしているため、/●/を@に置き換えてください。